



## 取組事例

(所定外労働削減)・(年休取得促進)・(仕事と家庭の両立)・(多様な正社員・朝型の働き方)・(テレワーク)

NDソフトウェア株式会社

企業名：エヌ・デーソフトウェア株式会社	所在地：山形県南陽市
社員数：471名	業種：ソフトウェア業

### 1 取組の目的

2011年の東日本大震災発生時に、ガソリン不足による通勤困難者に対応するため、緊急避難的に在宅勤務（テレワーク）を実施。その後、在宅勤務は正式な制度としていなかったが、親の介護、育児等の理由から社員の需要があり、優秀な人材の流出防止、多様な人材の能力活用を期待して2017年に正式に在宅勤務制度を導入した。

年休取得推進、時間外労働の削減は優秀な人材の確保には不可欠な要素となっており、様々な制度を導入しながら継続的に実施している。

### 2 取組の概要

#### (1) テレワーク制度の導入

- ・ 介護等の理由で県外の実家に戻ることになった社員から退職の相談があったが、本人が勤務継続を強く希望していたため、在宅勤務制度の正式実施にむけたワーキンググループを設置。
- ・ 自宅での作業について、当初はセキュリティ上の問題なども懸念されたが、東日本大震災時の在宅勤務の実績があり、比較的スムーズにスキームが決定した。
- ・ 在宅勤務者は、自宅のPCから社内環境にリモート接続（シンクライアント環境下）し業務を実施。勤務場所が自宅である以外は、会社と同じ条件での勤務となっている。業務時間中は管理者がいつでも勤務状況を確認できるよう、Webカメラとマイクを使い、コミュニケーションを取れる仕組みを採用。



## (2) 労働時間の短縮

- ・ノー残業デーから実施。
- ・労働時間管理は、Web の勤怠システムを導入しておりリアルタイムで把握。有給の取得状況、残業の状況などの把握が可能で各人でPCでの閲覧が可能。
- ・労働時間はICカードにより管理。時間外労働が一定時間を超えると、Web上の勤務表に警告がでるようになっており、上司は部下の時間外労働の実態を見ながら時間外労働の承認を実施。

## (3) 年次有給休暇の取得促進

- ・年間の年休取得日数は12.2日、取得率は70.8%。(2018年度実績)
- ・2015年より年休の5日計画的付与を実施。個人別年休取得計画表の作成、半日単位・時間単位の付与実施。リフレッシュ休暇として2日の連続取得を奨励。
- ・経営トップが、朝礼などを通じで有給の取得推進を社員に呼びかけている。

## 3 取組みの効果と現状

### (テレワーク制度導入の取組の効果と現状)

- ・テレワーク制度利用者については、業務内容・コミュニケーションなど問題なく仕事に取り組めており、多様な働き方の選択肢として社員に示すことができた。
- ・制度利用者は通勤時間が削減され、子供の保育園送迎・家事など時間を有効に活用できており、満足度が高い。

### (時間外労働の削減の取組の効果と現状)

- ・時間外労働については、若干であるが削減傾向にある。  
平均時間外労働 「2017/3 16.9H」「2018/3 15.7H」「2019/上 15.4H」
- ・システム導入により、管理職だけでなく社員の労務管理の重要性について、意識が高まった。

(年次有給休暇の取得促進の効果と現状)

- ・有給休暇の計画的付与については、2015年度より実施しており、導入後の有給取得率は70%に近い数字となっている。
- ・経営トップからの呼びかけもあり、有給休暇をとりやすい社内の雰囲気が出てきている。
- ・くるみん認定取得（平成28年）

#### 4 今後の取組

- ・現行のテレワーク制度は、開発職など職種が限定されており、今後は他職種への拡大が課題。今後は定期的なヒアリングを通じて、より多くの社員が活用できるような制度を目指す。
- ・変形労働時間制やフレックスタイム制度の導入